

カレッジ里山 花実の森 活動報告(2016年5月-2) 第68号

活動日 2016年 5月 22日(日)	時間 9:30~12:00	天候 (晴れ)	記録者 (菅田)			
公募参加者 14 家族 41 名 スタッフ 14 名	スタッフ 磯野彰夫 菅田忠志 松本治美 小林澄夫 中原一子 水島康夫 清水英暢 傑貴志子 橋野美子 山田喜義 本部:田路理事、四方理事、市原理事 (財)こうべ市民福祉振興協会 企画広報係					
親子カブトムシ生育観察会(2016年第1回 幼虫観察)						
今回実施した 内容	親子自然体験型環境学習として企画し、(財)こうべ市民福祉振興協会の共催を得て公募した2016年度『親子カブトムシ生育観察会』、年間を通して里山に棲むカブトムシの生育観察しながら、里山を知り体験するイベント。今回は2回シリーズの1回目。幼虫観察とこの夏羽化した成虫が産卵する場所作りの作業を体験してもらった。 次回2回目は7月17日(日)に【成虫観察】をする予定。					
写真記録						
  						
40名を超える親子が参加してくれた。 行動予定を説明し出発。		子どもたちにもヘルメットを着用してもらい安全に。	さあ 里山に入るよ。足元に気を付けて。			
						
里山に棲むカブトムシの一生について学ぶ。		今年の成虫が産卵する場所をつくるため、少し離れた林内の予定場所までみんなでチップを運ぶ。				
  						
運んできたチップを盛り上げ、少しづつ産卵場所が出来上がっていく。多分秋には 50~100匹くらいの幼虫が2歳にまで育ってくれていると思う。						



産卵場所づくりの後は、この冬、越冬して育ってきたカブトムシ3齢幼虫の観察だ。競争じゃないよ。やさしく観察するんだよ。



たくさんいたねえ。



見つけられなかった子どもたちは、
次の成虫観察時には、一番先に探してもらうからね。



最後に“ふりかえりシート”を書いてもらった。「たのしかった」「土の中にいるカブトムシをはじめて見た」「思っていたより幼虫が大きかった」など。

平成 28 年度観察会の看板も立てて表示。

この次は 7 月 17 日(日)だよ～

